

冬はみんなで雪遊び 雪と仲良くなるう!!

雪

Enjoy!

び遊



いよいよ冬真っ盛り!
寒い冬でも、雪と一緒に元気に楽しむ。
雪遊びもよし、スポーツを楽しむのもよし。
そんな冬ならではの楽しみ方を紹介します。

元気にいっぱい雪遊び

子供は風の子、元気な子。
寒い冬でも輝く太陽の下で元気に遊んでいる子供たちがたくさんいます。

一月十三日、真駒内曙小学校のグラウンドで開かれた地域の親子のふれあい交流「雪だ！みなみくんまつり」。会場にはイベントを楽しみにしていた親子や、地域の皆さん、ボランティアなど百七十九人が集まりました。

子供たちが地域の皆さんと一緒に輪投げをしたり、ボール遊びをしたり、会場全体に楽しそうな歓声が響き渡っていました。また、柔らかい雪の上で相撲を取ったり、雪だるまを作ったり、冬ならではの



▲はっけよい残った残った



◀輪投げゲーム、難しいな...

の遊びも楽しみました。

このイベントを通して親子のふれあいや地域の皆さんとの交流が深まり、参加者みんなが温かな気持ちになりました。冬の間は日暮れが早く、外で遊べる時間も短いですが、そんな時こそ、雪や氷を使って夜も楽しめるキャンドル作りはいかがですか。

最近、地域や職場、児童会館などでスノーキャンドルやアイスキャンドル作りをする人が増えています。

雪や氷の冷たさの中に、温かく幻想的な炎の輝きがとても美しく見えます。家族で作ると親子のふれあいも深まりそうです。あなたも冬にしかできない光の芸術作りをしてみませんか。

■手軽にできる！スノーキャンドルの作り方

- ①バケツの中心に丸い缶を置き、固定するように雪を入れます。
- ②缶が固定されたら、雪をバケツいっぱいに入れます。
- ③バケツを逆さにし、バケツと缶を取り外します。
- ④穴の空いているところにローソクを固定し、火を付けます。



■ちょっと本格的！アイスキャンドルの作り方

- ①バケツに水を入れ、屋外に置き凍らせる（絵の具や食紅などで水に色を付けてもきれいです）。
- ②バケツの中で氷が2～3cmの厚さになったら穴を空け、中の水を捨てます。
- ③バケツの周りを温めて、バケツから氷を外します。
- ④氷の中にローソクを固定し火を付けます。

